

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	落合幼稚園
対象	年長（さくら組、ゆり組）
実施期間	4月～3月
年間テーマ	道具を使うスポーツを通して空間認知能力と力加減を知る。また体力の向上とマナーを身につける。
場所	落合幼稚園内ゴルフ練習場

活動テーマとスケジュール

4月～ 7月 パターでボールを転がしカップにボールを入れる
 9月～12月 ドライバーでボールを思いきり打つ
 1月～ 3月 アプローチでグリーンにのせてパターでカップに入れる
 何打でカップにボールが入るか挑戦する

活動のために準備した道具や環境

＊活動のためにどのような環境を設定したか、準備した道具

- ・ゴルフボール・カップ・パター・ドライバー
- ・スナッグゴルフ用ボール・スナッグゴルフ用クラブ
- ・室内用グリーン（人工芝）・安全ネット

研究活動の実績

<1学期>

パターを使用し、カップにボールを入れる練習をした。初めて道具を使う球技に触れ、クラブの握り方や立つ方向、力加減に戸惑っていた。何度も試してみたり友達のやり方を見ながら考え、要領をつかんだ子どもは少しずつボールとカップの距離を離し、徐々に距離を伸ばしていった。



<2学期>

ドライバーで力いっぱいボールを打つ練習をした。はじめはなかなかボールに当たらずに段々とスイングが小さくなってしまい当てるのに一生懸命になっている子どもが多くいた。何度か試しているうちにドライバーで思いきりボールを打つことが楽しくなり、さらに教師が上体を起こし思いきり打つよう声掛けをすることで、自分なりに考えたり友達と共有しながら活動を行い、ゴルフの楽しさをみんなで体験した。



＜3学期＞

アプローチ（グリーン近くから打つ）でグリーンを狙い、グリーンにボールがのったらパターにクラブを持ち替えてカップを狙うミニゲームを実施した。二人一組ずつ打つ順番を決め、打ち始め二打目からはカップから遠い人が打つルールを伝えミニゲームを進めていく。待っている間にパターやドライバーの練習をする。子どもたち同士で順番やどうしたら上手に打てるかなどを共有したり、先生にも相談したりして、お互いにアドバイスをし合う活動を行うことにより、友達や先生との関わりを促した。



振り返り

ゴルフの握り方は基本力学上、クラブを下したとき右手が下で左手が上になるのだが、利き腕を体の近くにして逆になるケースが多かった。また、ゴルフの立ち方は、ターゲットに対して横を向くが、正面を向いてしまい違う方向を向いてしまう子どもも多く見られた。

パターでは強く打ちすぎるとカップを飛び越え、弱すぎると届かずに力加減を学んでいた。

ドライバーは構えた際、ボールに近すぎてしまい距離感をつかむのが難しそうであった。クラブの長さ、重さと遠心力を感じながら丸を描くように打つという原理が感覚で分かる子どもは当たるようになっていった。

三学期は、一学期と二学期で学んだことを生かし、本物のゲームのルールに則ってアプローチゲームを行った。正しい位置に立てているか、目測で相手のボールと自分のボールとどちらがカップから遠いかなど自ら判断し、ルールも理解して楽しんでいる子どもが多くいた。成長とともに道具を使うスポーツをすることも多くなるが、ゴルフは初めて道具を使うスポーツのきっかけに大変向いているスポーツであると感じた。

教師同士で共有するため、保育後の時間を活用し、撮影した写真等を見ながら異学年の担任も交えて振り返りを行った。子どもたちがどのようなところに興味を持ち、どのように考えながら活動を行っていたか理解を深めた。